

平成 26 年度
事業報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口

1 事業期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

2 年度総括

平成 26 年度は前年度に定めた事業計画に基づき各事業を実施した。定例総会は 6 月 14 日に開催し、平成 25 年度の事業報告および決算について報告を行った。各事業は事業計画および事業方針に沿って進め、事業としては川口きずな館の運営管理、川口地域バスの運行、川口運動公園の指定管理業務（3 社合弁）を実施。また 11 月 1 日に開所した JR 東日本信濃川発電所 PR 川口プラザの施設管理も受託し施設運営がスタートした。

地域活動では、拠点施設川口きずな館を中心に 6 月 1 日に天皇皇后両陛下をお迎えした第 65 回全国植樹祭をはじめ、震災 10 周年のメモリアルイベントを数多く実施した。また、前年度に続いて川口中学校の総合学習支援や、地域の祭りなど催事への参加及び協力を行ったほか地域づくり事務局として地域団体、集落の要望を聞き取り支援する活動を行った。

一方、平成 25 年度より継続してきた新潟県中越大震災復興基金事業の一環で行われた川口地域の生活実感調査は 26 年度で具体的な調査活動を実施し、延べ 7 回に渡る住民参加ワークショップを経て調査票設計から分析作業を行った。住民調査には川口地域の中学生以上 1,175 名が参加し、並行して行われた集落総代ヒアリング調査及び地域活動団体調査の結果と併せて調査実績報告書を整備し川口地域住民へ配布した。また調査成果の発表に先立ち 10 月 12 日には川口公民館において越後川口みらい会議を開催し、調査成果の中間発表を行った。

3 諸会議

(1) 平成 26 年度 総会の開催

平成 26 年 6 月 14 日（土）19:00 長岡市川口公民館（研修室）

出席数：131 名（委任評決者 102 名）

審議事項：

議案第 1 号 平成 25 年度事業報告について

議案第 2 号 平成 25 年度決算について

議案第 3 号 平成 26 年度事業計画、収支予算について

議案第 4 号 役員の選任について

各議案について、出席会員による議決承認を得て平成 26 年度事業を進める

(2) 理事会の開催

・第 1 回理事会

平成 26 年 5 月 23 日（金）19:00 川口きずな館

内容：平成 26 年度総会議案の審議、会員への通達事項について

・第 2 回理事会

平成 26 年 8 月 21 日（木）19:00 川口きずな館

内容：震災 10 周年事業の進捗、川口プラザの受託契約についての協議、越後川口みらい会議の実施計画についての協議、インターン生の研修プログラムについて

・第 3 回理事会

平成 26 年 12 月 3 日（水）19:00 川口プラザ

内容：組織運営体制の更新について、地域調査の進捗、活動進捗の確認など

4 事業の実施、成果に関する事項

(1) 「支えあう暖かい地域づくり」・地域生活を住民と共に考え実践していく参加型事業

1) 地域交通確保と充実 [地域バス事業の受託]

①川口地域バスの運行 (補助金事業)

[運用実績]

平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月：延べ運行日数 258 日

(1 日運行便数 3 路線 7 便、延べ 21 便)

②回数券の運用 (自主事業)

・ 1 冊単価 1,000 円 100 円券 11 枚綴り

・ 年間販売冊数 415 冊 (4 月～3 月・利用率 93%)

平成 25 年度販売数：216 冊	→	平成 26 年度販売数：415 冊
-------------------	---	-------------------

③レンタカー事業開始 (自主事業)

・ 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月：ハイエース 2 台

平成 25 年度利用実績：31 件	→	平成 26 年度利用実績：43 件
平成 25 年度売上：322,915 円	→	平成 26 年度売上：681,472 円

2) 高齢者の生活支援「住民の集い・語らい・仲間づくりの場の提供」

①「出張きずな茶会」各集落巡回型事業 (自主事業)

今年度は 7 回の開催

・ 平成 26 年 4 月 23 日：おはなし茶会 (きずな館での紙芝居上演)

・ 平成 26 年 5 月 15 日：田麦山地区

・ 平成 26 年 6 月 12 日：和南津地区

・ 平成 26 年 7 月 16 日：合同お茶会 (きずな館)

・ 平成 26 年 8 月 21 日：合同お茶会 (きずな館)

・ 平成 26 年 9 月 25 日：中山地区

・ 平成 26 年 11 月 12 日：牛ヶ島地区

各会場ではミニゲーム、ゲスト参加によるパフォーマンス (紙芝居) も実施

(2) 「豊かな心を育む地域づくり」・環境、人づくりで「地域力」を向上させていく事業

1) 学習活動の実施、人づくり事業の実施

①川口中学校総合学習 授業支援 [全 11 回] (協賛事業)

・ 平成 26 年 5 月から 12 月にかけて全 11 回の授業協力を実施

[テーマ] 中越地震から学ぶもの (3 年生 4 2 名が参加)

A 班「震災を伝える班」

B 班「過疎高齢化を考える班」

C 班「農業を考える班」

・ 平成 26 年 10 月 26 日：秋祭り会場にて研究成果中間発表

・ 平成 26 年 12 月：校内発表会で成果発表

・ 震災、過疎高齢、農業問題など川口地域が抱える問題を学び
「今の川口地域」を中学生が知ることができた

②趣味、教養活動の支援および実施 [計7回] (自主事業)

地域の事業者、地域づくり団体、近隣地区活動団体の協力、協賛により年間を通じて実施
延べ参加人数：63人

- ・平成26年4月5日：「冷たいデザート2層ゼリーを作ろう」(川口きずな館)
- ・平成26年4月12日：「手作りクラフト教室」(川口きずな館)
- ・平成26年6月21日：「本格カステラづくり」(川口きずな館)
- ・平成26年8月2日：「PPバンドで小物入れづくり」(川口きずな館)
- ・平成26年11月16日：「コルク人形づくり」(川口きずな館)
- ・平成27年2月21日：「あみものの日＊ニットカフェ」(川口きずな館)
- ・平成27年3月21日：「羊毛フェルトお茶会」(川口きずな館)

2)文化活動の実施

①講演会、トークショー等の受け入れ、実施支援 [会場：川口きずな館] (協力事業)

- ・平成26年10月23日：川口きずな館オープン3周年記念トークショー
川口きずな館の開館3周年を記念し、泉田新潟県知事を川口きずな館にお招きして
地域事業者、活動団体代表者らとの記念トークショーを開催

②企画展の開催 [会場：川口きずな館]

- ・平成26年7月10日～7月31日：第65回全国植樹祭開催記念写真展
- ・平成26年11月17日～11月30日：かたっこ写真クラブ写真展

③若者向けイベントの開催 [会場：川口プラザ] (自主事業)

- ・平成26年12月19日：よるプラ(第1回)
地域の若い世代を対象に夜間の施設利用をPRする出会いの場イベントを開催

(3) 「地域の活性化と交流促進」・・・受託事業と連動した地域資源の再生事業

1)地域交流イベントの活性化支援

①地域活性化促進事業「オール川口フェスタ2015」の開催(自主事業)

実施日時：平成27年2月15日、午前10時開幕～午後4時終了

概要：長岡市市民活動助成事業としてアオーレ長岡で地域PRイベントを開催
川口地域の地域団体、飲食店、郷土芸能団体が参加

動員：2,500名(アオーレ長岡公式発表)

参加団体：地域PRコーナー(川口町商工会・川口観光協会・長岡パークゴルフ協会)

飲食出店10団体(地域活動団体・川口町商工会加盟の飲食店)

郷土芸能団体2団体(各地区活動団体)

移動広報車(くらしサポート越後川口)

②地域交流イベント「きずなマラソン2014」の開催(協力事業)

- ・地域の絆をフラッグでつなぐリレーイベントの開催
- ・平成26年10月19日開催、川口きずな館から町内リレーを開始、川口支所前で
ゴール、閉会式イベント(絆の人文字)を開催

(4) 「地域の元気づくり支援」・・団体間連携を取り持ち、地域協働の絆を深めていく事業

1) 地域団体、グループの活動支援

① **地域づくり事務局**の開設（協力事業）

地域集落、団体の要望に応じて事務局機能を担い、地域活動を支援していく活動。

- ・ドリームキャッチくろうばあ「ドリームキャッチ」事務局
7月開催の県外からのツアープログラムの運営事務局を担当

② 地域間交流イベントへの支援（協力事業）

・平成26年10月19日～10月20日 **Song of the EARTH2014**

参加する東北被災地住民の受入支援。会場機材の準備、移動支援などに協力

2) **川口の次の10年を考える指標**づくり（自主事業）アンケート調査

震災から10年を振り返りながら地域住民参加による次の10年を考える調査活動を開始

- ・A調査「地域活動団体調査」地域で活躍する地域づくり団体へのヒアリング
- ・B調査「地域住民調査」住民各世代向けアンケート調査の内容協議
のべ7回にわたるワークショップを開催し実施
- ・C調査「地域集落調査」川口の各集落（大字）を対象としたヒアリング調査

平成26年10月12日開催 生活実感調査 中間発表「越後川口みらい会議」

※3月 実績を全戸配布

(5) 情報発信事業

① **活動紹介ホームページ**の更新（自主事業）

事業活動を紹介するホームページ（www.npo-kse.com）を適宜更新し、実施事業の予告、報告、活動内容を随時紹介。各関係機関ともリンクして相互に情報共有を行う

② 機関紙「**くらサポ便り**」の発行（自主事業）

活動予告、実施報告を編集、掲載して毎月20日に川口地域全戸に配布し、平成26年4月号から平成27年3月号まで毎月発行（12回）

5 受託事業、助成事業 について

(1) 川口きずな館の管理運営事業

・施設の管理運營業務（委託：公益社団法人中越防災安全推進機構）

平成 25 年度来館者：14,312 人	→	平成 26 年度来館者：17,726 人
----------------------	---	----------------------

(2) 川口地域バス（過疎地有償運送）

・川口地域バスの運行管理（委託：長岡市）

平成 25 年度利用者：8,859 人	→	平成 26 年度利用者：9,861 人
---------------------	---	---------------------

(3) 中越大震災復興基金事業「地域経営実践支援」

・地域づくり事務局活動、移動広報車整備、地域調査（次の 10 年指標調査）等を含む持続可能型地域経営モデル実践事業（助成：新潟県中越大震災復興基金事務局）

※平成 25 年度から平成 26 年度までの 2 ヶ年事業として助成

各実施事業に活用	移動広報車（キッチンカー）の運用
	地域づくり事務局の運用
	川口地域の生活実感調査の実施、報告書作成費

(4) 川口運動公園の維持管理運営

・川口運動公園の施設管理、運営（指定管理：長岡市）

※当会、グリーン産業（外構管理企業・新潟市）、山崎組（施設管理企業・長岡市）との 3 社による事業体「川口運動公園運営グループ」により運営を行う。（5 年委託契約の 2 年目）
当会は受付業務を主に担当として運営を継続

(5) 川口プラザの管理運営事業

・施設の管理運營業務（委託：JR 東日本 信濃川発電所）

平成 26 年 11 月 1 日 オープン

決算報告書

第4期

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月31日

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口

新潟県長岡市川口中山1 4 4 1

平成26年度 活動計算書
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 くらしサポート越後川口

科 目	金 額(単位:円)		備 考
I 収入の部			
1. 会費収入		468,000	
正会員会費収入	448,000		@2,000円×224名
団体会員会費収入	20,000		@10,000円×2団体
2. 事業収入		38,177,385	
1) 事業収入			
自主事業	2,449,272		バス運賃収入 レンタカー事業 イベント参加費 他
請負事業	19,163,313		中越防災安全推進機構(きずな館運営 長岡市(運動公園指定管理 3社) 川口プラザ
2) 助成金	16,564,800		新潟県助成金(地域経営実践支援) 長岡市助成金(地域活性化) 3口分 長岡市助成金(バス運行費)
3. その他の収入		354,038	
雑入	353,587		
受取利息 他	451		
当期収入合計(A)		38,999,423	
前期繰越収支差額		339,646	
収入合計(B)		39,339,069	
II 支出の部			
1. 事業費		30,089,095	
1) 人件費		12,613,768	
給料手当	10,621,176		当会事務局3名・バス運転手3名
法定福利費	1,181,465		
福利厚生費	313,727		
その他	497,400		
2) その他経費		17,475,327	
施設管理費	2,514,096		運動公園整備担当者 1名
旅費交通費	411,870		
広告宣伝費	133,344		
通信運搬費	217,316		
印刷製本費	574,032		報告書印刷費
材料仕入費	1,048,694		
減価償却費	184,412		
消耗品費	498,243		
委託作業費	1,483,231		報告書デザイン等委託料
諸謝金	336,109		
賃借料(リース含む)	2,812,642		
車両関連費	3,879,172		
修繕費	89,812		
保険料	1,267,990		
租税公課	1,553,790		消費税・法人税ほか
その他	470,574		

科 目	金 額(単位:円)		備 考
2. 管理費		8,042,583	
1) 人件費		6,861,473	
給料手当	5,983,817		
法定福利費	779,618		
福利厚生費	98,038		
その他	0		
2) その他経費		1,181,110	
施設管理費	255,582		
旅費交通費	59,340		
広告宣伝費	148,320		ホームページ管理ほか
通信運搬費	86,512		
印刷製本費	170,208		くらサポ便りほか
消耗品費	303,363		
租税公課	63,650		
その他	94,135		
当期支出合計(C)		38,131,678	
当期収支差額(B-C)		1,207,391	
次期繰越収支差額		1,207,391	

貸借対照表

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口
全事業所[税込] (単位:円)
平成27年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,880,978
現 金	128,212	預 り 金	177,602
普通 預金	813,103	未払法人税等	70,000
現金・預金 計	941,315	未払消費税等	1,135,800
(売上債権)		流動負債 計	3,264,380
未 収 金	2,626,214	負債の部合計	3,264,380
売上債権 計	2,626,214	正 味 財 産 の 部	
(棚卸資産)		【正味財産】	
棚卸 資産	566,270	正味 財産	1,207,391
棚卸資産 計	566,270	(うち当期正味財産増加額)	867,745
流動資産合計	4,133,799	正味財産 計	1,207,391
【固定資産】		正味財産の部合計	1,207,391
(有形固定資産)			
車両運搬具	2		
什器 備品	267,520		
有形固定資産 計	267,522		
(投資その他の資産)			
敷 金	55,200		
長期前払費用	15,250		
投資その他の資産 計	70,450		
固定資産合計	337,972		
資産の部合計	4,471,771	負債・正味財産の部合計	4,471,771

財 産 目 録

特定非営利活動法人 くらしサポート越後川口

(単位:円)

平成27年3月31日現在

科 目	金 額		
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金・預金			
現金手許有高	128,212		
普通預金			
大光銀行 越後川口支店 No.3008202	813,103		
未収金			
新潟県中越大震災復興基金 補助金	1,401,000		
川口プラザ3月分運營業務管理費	613,440		
にいがたイナカレッジインターン2-3月分	200,000		
油圧ショベル・燃料費	197,502		
運動公園グループ施設管理費	214,272		
棚卸資産			
販売飲料、パンフレット	566,270		
流 動 資 産 合 計		4,133,799	
2. 固 定 資 産			
車両運搬具			
黄バス(補助車両)ハイエースW300わ1026	1		
日産シリアン(さんだーばーど)800す482	1		
レンタカーハイエースW300わ1025	0		
什器備品	267,520		
敷金	55,200		
長期前払費用			
ハイエースW300わ1026 リサイクル料	15,250		
固 定 資 産 合 計		337,972	
資 産 合 計			4,471,771
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金			
長岡年金事務所	162,439		
従業員給料	462,056		
レンタル料	102,816		
渡辺石油(株)	246,941		
吉原印刷	200,880		
その他	705,846		
未払金合計		1,880,978	
預り金			
従業員(社会保険料等)	177,602		
未払法人税等	70,000		
未払い消費税	1,135,800		
流 動 負 債 合 計		3,264,380	
負 債 合 計			3,264,380
正 味 財 産 合 計			1,207,391

監査報告書

平成 27 年 4 月 18 日

特定非営利活動法人くらしサポート越後川口
代表理事 水 落 優 様

監 事 関 正 行



監 事 宮 幸 雄



平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの事業年度における、くらしサポート越後川口の会計業務について監査するため、収支決算等について検討を加えた結果、次の通り報告します。

1. 業務報告書は、事業計画に基づき適正に業務執行されているものと認めます。
2. 収支決算書は、予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。
3. 会計帳簿は記載すべき事項を正しく記載し、領収書等の記載と合致していると認めます。